

成果報告会

プログラム (9:30 開場)

10:00~10:20	開会挨拶	文部科学省 川口 悦生 分野マネージャー 矢川 元基
10:20~10:30	戦略プログラム分野3の概要	今脇 資郎(JAMSTEC)
セッション 1：地球規模の気候・環境変動予測に関する研究		座長：木本 昌秀(東京大学 AORI)
10:30~11:15	地球温暖化時の台風の動向の全球的予測 ー雲解像全球モデルによる気候予測への挑戦ー	杉 正人(気象研究所)
	全球雲解像モデルNICAMIによる延長予測可能性の研究	佐藤 正樹(東京大学AORI)
	気候モデル開発プラットフォームの構築と応用	羽角 博康(東京大学AORI)
セッション 2：超高精度メソスケール気象予測の実証		座長：斉藤 和雄(気象研究所)
11:15~12:00	領域雲解像4次元データ同化技術の開発	露木 義(気象研究所)
	領域雲解像アンサンブル解析予報システムの開発と検証	瀬古 弘(気象研究所)
	詳細シミュレーションで不確実性の低減をめざす ー高精度領域大気モデルの開発とそれを用いた基礎研究ー	木村 富士男(JAMSTEC)
12:00~12:30	質疑応答と討論	司会：時岡 達志(JAMSTEC)
12:30~13:30	昼休み	
13:30~14:00	ポスター発表	
セッション 3：地震の予測精度の高度化に関する研究		座長：古村 孝志(東京大学)
14:00~14:45	地震動シミュレーションの高度化と課題	古村 孝志(東京大学)
	南海トラフにおける地震発生シナリオの多様性と予測への活用	兵藤 守(JAMSTEC)
	スペクトル要素法による理論地震波形計算と地下構造推定	坪井 誠司(JAMSTEC)
セッション 4：津波の予測精度の高度化に関する研究		座長：今村 文彦(東北大学)
14:45~15:15	南海トラフにおける超高並列津波シミュレーション	馬場 俊孝(JAMSTEC)
	東日本大震災を対象とした高精細津波シミュレーション	有川 太郎(港湾空港技術研究所)
セッション 5：都市全域の地震等自然災害シミュレーションに関する研究		座長：堀 宗朗(東京大学)
15:15~15:45	建造物の地震応答シミュレーション	岡澤 重信(広島大学)
	都市の地震・津波応答シミュレーション	浅井 光輝(九州大学)
15:45~16:15	討論	司会：金田 義行(JAMSTEC)
16:15~16:30	コーヒーブレイク	
セッション 6：計算科学技術推進体制構築		座長：高橋 桂子(JAMSTEC)
16:30~17:00	計算科学技術推進体制構築の概要	上原 均(JAMSTEC)
	分野3アプリ高速化／高並列化の成果	安藤 和人(JAMSTEC)
17:00~17:45	総括討論 ～今後取り組むべき課題～ ～作業部会委員からのコメント～	司会：今脇 資郎(JAMSTEC)
17:45~17:50	閉会挨拶	今脇 資郎(JAMSTEC)

※講演内容・時間については変更となる可能性があります。

主催：独立行政法人海洋研究開発機構

事務局：〒236-0001 神奈川県横浜市金沢区昭和町 3173-25
独立行政法人 海洋研究開発機構 地球情報基盤センター 企画調整室
TEL：045-778-5753 FAX：045-778-5491
Email：hpci-spro@jamstec.go.jp
URL：http://www.jamstec.go.jp/hpci-sp/event/seika_2014/